

八幡高原に夏を告げる
アカショウビン



きたひろしま

議会だより



平成17年度予算 …………… P2～3

一般質問 23議員が町政を問う … P4～15

条例・陳情・発議 …………… P15

議員活動 …………… P16

傍聴記 …………… P16

新町建設計画の財政計画

平成17年度予算推計額より **5億6千万円減**

旧4町前年度比 **プラス0.2%の増加**

162億8000万円

〈賛成多数〉

予算審査特別委員会の主な質疑

Q

人件費について新町
財政計画にくらべ予

算は大幅な増となっている
が。

A

消防署等一部事務組
合職員の人件費を財
政計画では補助費で計上し
ていた。財政計画の見直し

をする。

Q

滞納整理組合への負
担金にくらべ、歳入

の徴収予定額が少ないが、
税の滞納分を全額見込んで
いるのか。

A

滞納繰越額の全額収
納は見込んでいない。
今後徴収率を上げるよう努
める。

Q

今後における職員
の採用予定は。

A

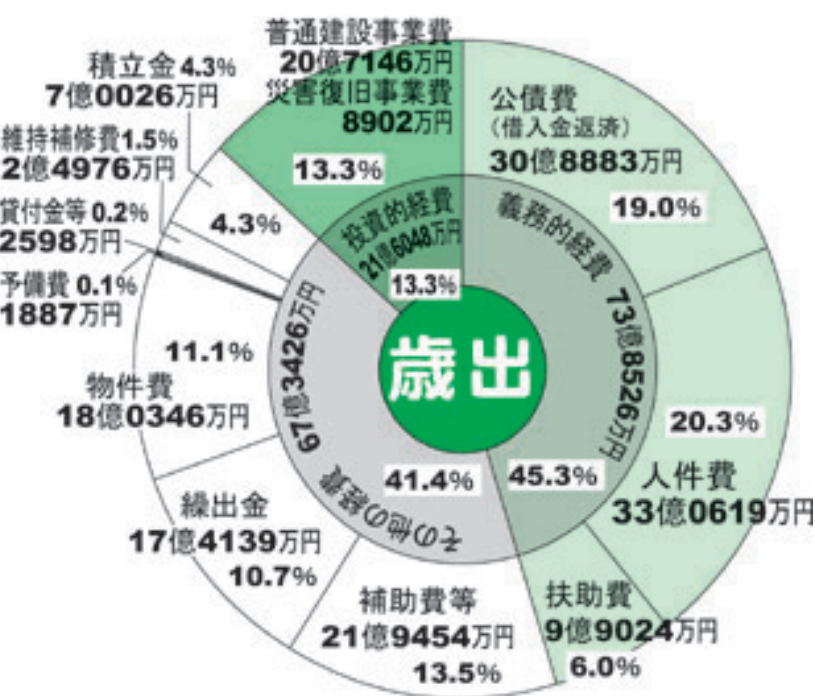
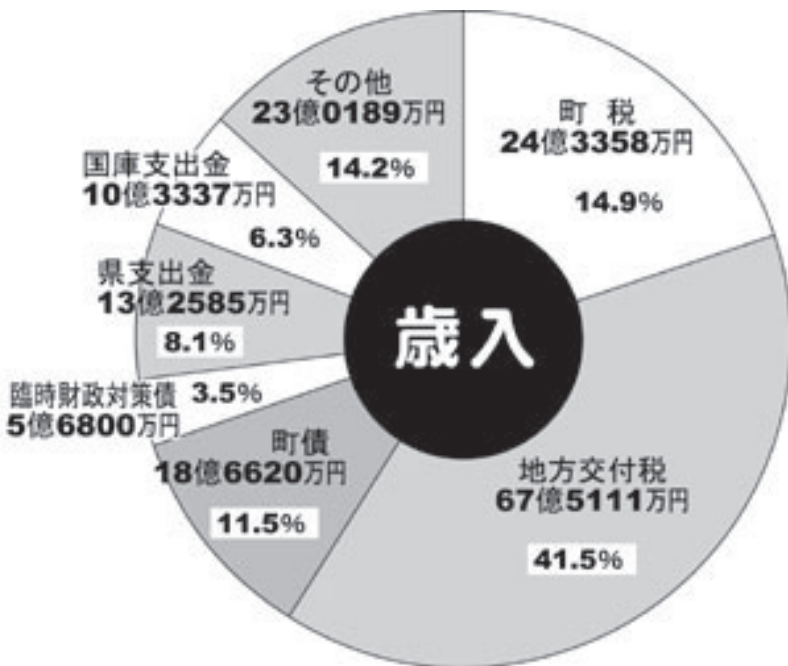
人件費削減は合併目
的の大きな要素、類
似団体並の職員数を考えて
いる。当分の間退職者の三

Q

新町内のバス運行等
今後どのように考え
ているか。

A

中国運輸局を含めた
関係者で検討委員会
を設置し、根本的見直しに
ついて検討したい。



新しい財政、厳しい町運営をどうする!!

●会期／6月16日～29日●
平成17年度 一般会計予算

特別会計予算

国民健康保険特別会計	22億3,003万円
住宅新築資金等貸付事業特別会計	1,468万円
結婚支度金貸付事業特別会計	55万円
老人保健特別会計	37億0,035万円
下水道事業特別会計	9億3,000万円
農業集落排水事業特別会計	4億0,605万円
介護保険特別会計	22億3,516万円
簡易水道事業特別会計	7億0,042万円
直診雄鹿原診療所特別会計	1億7,635万円
直診八幡診療所特別会計	3,435万円
直診芸北歯科診療所特別会計	4,118万円
電気事業特別会計	4,700万円
住宅団地等開発特別会計	662万円
芸北財産区特別会計	874万円
特別会計合計	105億3,148万円

公営企業会計予算

水道事業会計	2億9,812万円
豊平病院事業会計	8億0,320万円

Q 小型合併処理浄化槽設置事業予算は九五基が見込んであるが、少ないのではないかと。

A これまでの実績から少なめだが、普及の進捗状況も考えて今後の要望に対応する。

Q 大型店舗の進出により小売店の廃業もある。消費者の高齢化を考えると、商店街の活性化も必要か。

A 現在米の値段も下落もあり、法人の行詰まりもある。農業、集落の自立のため、直接支払制度の有効活用を推進させたい。

要ではないか。

A 先進的な事例等研究してみる。

Q 農業者の高齢化により、守る農業になっている。中山間地域直接支払制度の有効活用を推進させたい。

A 現在米の値段も下落もあり、法人の行詰まりもある。農業、集落の自立のため、直接支払制度の有効活用を推進させたい。

効活用を推進する。

Q 「北広島町非核平和宣言」を広く町民等に周知する必要があると考

A 今後、町広報及び庁舎への懸垂幕の設置等で周知を図る。

えるが。

一般会計予算

反対討論

梅尾泰文議員

新町建設計画を網羅するというのが性急すぎる。合併した町は収入に勝る借金・起債がある。預金は底をついている。費用対効果を考え、不測の事態に備えた財政運営を望む。今年度予定している建設事業を二か年で行うような計画と柔軟な対応をすべきではないか。

賛成討論

中田節雄議員

最も基本となる町の長期総合計画の策定等が予算計上されている。非常に厳しい状況の中、早く町づくりを行い新たな町政運営で、誰もが安心して暮らせる社会を作っていくことが緊急課題だ。

課題はあるが一刻も早い新町づくりを目指し、議会・執行者一丸となって邁進しなければならぬ。

賛成討論

高原和彦議員

新町建設計画を旧四町域の住民がお互いに認め合う事業の推進、それぞれの地域が更に特徴・特性を活かせる、受けとめる行政施策が住民からも求められている。今より更に住みたい地域に、将来に夢を描ける北広島町の思いを強く伝え、本予算の執行、成果を期待する。

を問う

ちの町づくり

議員が一般質問を行いました。

問

(一)今年度は新町建設計画に対し六億に近



亀岡 章治

新町建設計画

問 新町建設計画に見合う財政見通しは

答 財政の見通しは予断を許さない

い減額予算であります、来年度以後建設計画に見合う予算の確保は可能でしょうか。

(二)政府は交付税を合併後十年、現在額を保障するといったが、信用度はどうでしょうか。
(三)将来財政難が顕著です。人件費の抑制、新町建設

答

(一)来年度以後の財政見通しは予断を許

画の調整、見直しを含め今後の方針を伺います。
しません。事業の必要性・計画熟度を精査し、進度の調整を図ってまいります。
(二)国は交付税抑制の方針ですが、全国町村会等で財源保障を強力に要請します。

答

旧町からの引継ぎで本町に責任があり、委託料の返還を求めています。町民に理解を得よう説明します。

問

廃

の説明と責任を問います。

廃プラ未処理問題は？

(三)町づくり委員会・行革審議会を設置し、新町建設計画の見直しや人件費、事務事業等協議します。

新町建設計画

問 積極的な定住促進を

答 経営環境の整備に取り組む



杉本 武信

問

広島市内から本町へ、約一五〇〇人が通勤しています。企業立地奨励金を出しても、定住につながらなければ効果は薄いと思います。企業経営者や市内からの通勤者の意見を聞く機会を設けてはどう

答

「地域産業活性化推進会議」の開催を申し入れ、

問

選挙が三月では、新年度の立ち上げが遅れるなど支障が多いと思

答

生活交通再編検討委員会（仮称）などを設けて早急に取組みます。

問

高齢者や障害者の通院や買物のため、デマンドタクシーを早期導入できないでしょうか。

生活交通再編検討委員会（仮称）などを設けて早急に取組みます。

生活交通の手段は？

秋に繰り上げるよう工夫できないでしょうか。法律に従って対処します。町民の負託を受け、任期を務めます。



小里 成樹

新町建設計画

問 どう据える若者の定住促進

答 長期総合計画の基本課題

問

現在、全国的に少子化が進行し、二〇二五年頃には世界のどの国も経験したことのない人口減少社会になると予測されています。

しかし、農村社会では既に過疎化により、山型の年

答

年齢人口構成は壺型に変わっています。年金・医療・介護等社会保障制度の支えを失います。これをどう据えているのか伺います。

ご指摘のとおり大変な問題であると理

解しています。本町の人口もこの五年間で約七〇〇人減少しています。総合計画の基本課題と位置づけ、若い世代のニーズを諮りながら、就業の場・子育て・教育・交通等総合的な施策を計上します。社会保障制度の見直しに際しては、地方の声を県・国へ届けるよう努力します。



問

新庄学園への補助は？事業補助金の残金七、〇〇〇万円はどうするのでしょうか。

答

新庄学園から事業計画・資金計画のヒアリングをしており、前向きに考えていきます。

町政をどうなる？私た

合併後初の定例議会で23人の議

新町建設計画

問 定住対策、建築費補助について

答 他町に例のない取組みで



加計 雅章

問

定住促進対策として、新規定移住者に

答

町内のみに通用する地域通貨で建築費を補助して、商業の活性化につなげ、特に団塊の世代をターゲットにと言っています。具体的な予算、方法、時期、成果はどの様に考えているのでしょうか。

今年度、具体的な問題を一つ一つ検討

問

し、来年度実施に向けて取り組みます。予算、今後の見通しは？

答

基金又繰越金まで繰入れする予算となっていますが、今後の見通しはどうでしょうか。

問

新町建設計画を着実に推進するための事務事業・内部管理・職員数の見通しはどのよう

答

県からの派遣職員など、抜本的な見直しを含め行財政改革を行います。

答

県からの合併交付金、基金からの繰入れを行ないながら、あらゆるものを抜本的に見直します。

新町建設計画の推進は？

新町建設計画を着実に推進するための事務事業・内部管理・職員数の見通しはどのよう

新町建設計画

問 合併に伴う課題への対応について
(各種計画は町民参加で意欲づくり)

答 課題対応は調整のため遅れている
(計画策定は専門家委託で当面对応)



松田 実

問

合併協定では、新町で検討する課題が多く残っていますが、どの様に取り組むのですか。
各種計画づくりを外部委託でなく、町民・職員で考え、町づくりの意欲形成を

答

図るべきと思いますが、考えを伺います。
新町で対応する課題は多く、整備には補助金、助成費のことであり、調整が必要で遅れています。

問 支所機能の充実とは?

支所機能の充実について伺います。

答

地域協議会設置対策懇話会(仮称)を開催し、九月末に方向性を出

非核・平和宣言は?

非核・平和宣言など行う考えはありますか。

答

戦後六〇年の節目の年に新町発足で宣言を提案します。
人権宣言、町民憲章は今後検討します。

行政関連

問 新町の生活交通の確保充実について

答 住民ニーズに応える交通体系を図る



真倉 和之

利用されていて便利です。

しかし、高齢化の進行は早く、巡回バスの通る所まで遠く感じる高齢者が多くなり、統一的交通体系の導入が急務です。

答

町内バス業者、行政、更に中国運輸局の協力を得て、生活交通再編検討委員会を設け効率的な交通体系の調査検討を行います。

問

これまでも巡回バス事業は多くの方が

要望の多いデマンドタクシーの運行は、合併協議会で方向性が示されていますが、実施時期について伺い

ます。
デマンドタクシーの運行は、交通弱者の生活交通便利の向上のため効率的です。

問

恵まれた教育環境を生かした均衡ある

学力向上の取組みは?

答

地域通貨は、新築住宅以外の建売住宅や中古住宅購入の補助対象となりますか。
基本的に自己の家で町内に住むことで、補助対象となります。

問

地域通貨について

そのため巡回バスとの役割分担を行い、平成十八年度からの導入を図ります。

答

学力向上への取組みについて伺います。
派遣指導主事が計画的に学校訪問し、学力向上に向け指導を行っています。

問

新町建設計画は?

長期総合計画・過疎地域自立促進計画の取組みについて伺います。
新町建設計画の事業順位を尊重し、事業内容を見極めながら取り組んでいきます。

答

調整はサービスは高く、負担は低くを基本とします。各種計画の町民・職員の意欲づくりの主旨は理解できますが、専門的手法も必要で、今後の課題です。



北広島町行政区長会



箕牧 智之

行政関連

問 周辺部対策について

答 可能な限り取り組む

問

合併後、中心部から遠く離れている町民が最も心配されているのが周辺部の問題です。

町内どこに住んでいても安心できる町づくりのため、公正公平で「町政懇談会」等周辺部住民の意見を聞く必要があると思いますが、

答

考えを伺います。

合併によって心配されているサービス感、距離感は重く受けとめています。

旧町それぞれの魅力、特色が発揮されるよう思案し、大事なことには的確に対応します。

問

義務教育の将来は？

義務教育の将来像について伺います。

答

学区自由化、小学校再編成、共に検討します。



大石 敏之

行政関連

問 職員の意識改革と地域活性化について

答 創造と挑戦の風土に転換したい

問

これから地方分権における「創造の時代」を迎え、真の地方自治が甦ろうとしている時に職員が十分に能力を発揮するか、否かが問われています。職員の能力活用の方法と地域活性化、いわゆる町づくりのためにどの様に意識

答

改革をしようと考えていますか。

職員が意識改革をし、他の自治体に打ち勝つ強固な体制を造る事が重要です。そのため前例踏襲主義でなく、合理的理由と明確な根拠に基づいて職務を果た

問

農業振興は？

農業の基本姿勢について伺います。

答

十年先を目標とした農業振興計画を策定しました。計画的、効果的な施策を推進し地域活性化を図ります。

していく姿勢と能力が必要です。創造と挑戦の気概をもって進めていく風土に、役場の体制を転換していきます。

行政関連

支所機能の充実を

支所機能の充実に努力する



藤堂 修壮

北広島町発足にと
もない、町全体の把

握と一極集中でなくエリア
の情報や、事務処理の簡素
化、効率化のため支所の設
置がされました。
支所は町の中核的存在で
あり生活の拠点でもありま
す。支所の充実はエリアの
発展につながりますが、考
えを伺います。

本所、支所の業務
のあり方や、支所の
組織、職員の配置など問題
もありませんが、四月にスター
トしたばかりでこれからの
充実に努力します。

職員も事務処理など習熟
をしてきてはいます。今少
し見定める必要があり問題

点の状況把握に努め、見直
すべきところは見直します。

長期総合計画は？

長期総合計画につ
いて伺います。

十八年度に策定を
考えています。まち
づくり総合委員会で今後審
議します。

住民説明会は？

住民説明会は考え
ていますか。

透明でわかりやす
い行政推進のため、
区長との対話や地域協議会
などを検討します。

町民運動会の開催は？

町民運動会の開催
について伺います。

町民のふれあいの
場を作るため実行委
員会を立ちあげ、検討・実
施します。

行政関連

公害防止条例の制定について

制定は今後研究する



梅尾 泰文

環境問題は全地球
的な課題として、私

たちに訴え取組みを促して
います。
他の自治体でも公害防止
条例を制定して住民の健康・
動植物の育成・保護にも努
めております。
本町も企業誘致するなど、
活性化も必要ですが、環境
基準をクリアした企業を望
みます。

是非条例制定を求めます。
地球規模の環境保
全に取り組むことは
大切です。

本町においては、環境保
全に関する条例、環境美化
に関する条例を制定してい
ます。これらの条例を基本
に総合計画と整合性を図り
ながら、町民の健康、生命

そして豊かな自然環境を守つ
ていきます。公害防止条例
は今後研究します。

健康モデル地区指定は？

健康モデル地区
(仮称) 指定の考え
はないですか。

健康づくりの気運
を高めるのには効果
が期待でき、検討してい
きます。

生活道の実態把握は？

救急車が自宅まで
入れない世帯等の実

態把握はされていますか。
現状については正
確に把握していませ
ん。調査していきます。

バス路線以外の交通は？

バス路線以外の地
区住民が利用するタ
クシーに補助制度の考えは
ありますか。

利用地域の指定等
困難があります。公
共交通については総合的な
検討を行ないます。



美化運動 (本地地区)

問

合併後の芸北・大朝・豊平の各支所は



宮本 裕之

職員数が半減し、支所とその周辺地域の活力が薄れた感はいなめません。支所一階以外の利用率も極端に下がっています。今後の支所利用率アップに向けた取組みと支所機能充実のため、支所長権限の拡大を計っていく必要があると思います

が、考えを伺います。
答 支所の利用率を上げるために、今後住民の意見を聞きながら利用計画を策定し、必要に応じて支所の改修にも取り組んでいきます。支所長の権限については、効率的で迅速な事務手続きをしていくた

行政関連

問

支所機能の充実と支所長権限の拡大が必要

答 支所長権限を拡大し、支所の利用促進に取り組む

行政関連

問

医療・保健・福祉における行政・民間・地域の果たす役割・責任について

答 住民にとって欠かせない事業には町として適格に対応する



服部 照雄

問 町における少子高齢化と地方分権の対応において、国・県の施策変更や長期財政推移予測を踏まえ、医療・保健・福祉において、行政・民間・地域各々がこれから果たすべ

き役割・責任があります。それらにどのような考え方で施策を行われるのか、基本的方針をお聞きます。
答 多様な事業主体による一定の競争原理による展開は、保健・福祉

の質の向上等、住民にとってサービスの選択が広がります。
 高齢者福祉・介護保険事業計画を見直し、住民、民間からの幅広い意見を取り入れ策定していく必要があるが、採算性の見込めない事業については町として、支援、助成は考えていきます。

めにも必要であり権限の拡大をしていきます。

障害者福祉施設は？

問 障害者福祉施設、グループホームの建設に向けた取組みについて伺います。

答 知的障害者のためのグループホーム（六人定員）建設に、取り組んでいきます。

農業法人への支援は？

問 農業生産法人の支援と担い手、リーダー

の育成について伺います。

答 農業法人の自立した安定経営ができるよう支援します。担い手育成総合支援協議会（仮称）を立ち上げます。

環境保全の取組みは？

問 環境保全とその財源確保について伺います。

答 豊かな自然を町民の健康づくりのためにも保全していきます。産廃税（埋立税）の利用を県に要望していきます。





教育問題

問 通学区域の弾力化はどうする

答 小学校は全地区導入を検討する



日山 静樹

問

教育環境の向上を図るため、小学校通学区域の弾力化及び教育施設の適正配置を検討するとあります。

答

旧千代田町教育委員会が教育改革の一環として通学区域を廃止し、町内小学校の自由選択制度を導入して

問 学校の統廃合は？

幅広い関係者の意見を聞き、教育委員会として方針の協議、決定をします。小学校は全地区導入し、四つの中学校についても「自由選択制度」の導入を検討していきます。

問

学校適正配置（統廃合）はどの様に考えていますか。

答

少子化の中で避けて通れない問題である

問 壬生小学校の改築は？

壬生小学校の改築については旧千代田町教育施設審議会が答申が出されたが、その後どのように協議されていますか。

答

北広島町教育ビジョンの中で検討します。

教育問題

問 就学前の教育環境の整備について

答 新町中山間地域の子育て支援は重要課題と認識している



高原 和彦

問

新町での小学校入学児童数は年間一六

〇名前後です。

その現状の中、就学前教育・子育て支援、中山間地域の保護者の期待にこたえられる保育所の充実、教育環境の整備等見直しが必要ではないでしょうか。

保護者の目線で、教育部局と連携した地方自治体の新町保育運営の取組みを伺

答

公・私立合わせて

一四の保育所、六〇〇人強の園児、新町の次世代育成支援は幼稚園が休園状況もあり、合併した新町の保育所運営は極めて大切な施設と認識しています。

中山間地域の特性を生かした就学前の教育環境の整

問 旧町の政策の差異はなにか？

合併から五か月、旧四町域の政策の進め方に差異はないですか。またどうするのですか。

答

各支所からの声を踏まえ、地域の特性

問

踏まえ、地域の特性を踏まえ、地域の特性を生かしつつ、公平な進め方をします。



室坂 光治

道路関連

問 芸北広域農道豊平千代田今田間
開設の促進について

答 平成二十六年年度完成へ県と連携を
図っていく

問

豊平側都志見運動公園入口から西宗千代田境までの間は、工事も計画通り進行中であり、豊平地区住民の方は千代田までの最短の道程であり、国土調査や用地買収が急が

答

れますが、早期着工について伺います。芸北豊平千代田をほぼ直線的に結ぶ当路線は、本町の農林振興・広域観光振興町民の生活道路として極めて価値の高い

路線だと認識しています。今田地区の地籍調査は、平成十四年度から道路整備は行われ、平成二十六年年度完成を目指し、県と連携を図っていきます。

問

これからの時代を担う小中学生が、基



藤田 重昭

教育問題

問 不登校児童生徒への対策は

答 具体的取組みをする

礎学力を身につけ、望ましい人間関係の基礎を培うことは重要なことです。町民の期待に応えられる学校教育の実現に関わって、不登校児童生徒への対策について次のことを伺います。

- (一) 不登校の実態
- (二) 教育委員会の取組み

(三) 今後の方針

答 (一) 不登校児童生徒は、指導態勢の充実、小中学校の連携等でやや減少傾向にあります。不登校の原因は個別的複合的であるので、総合的な取組みが必要です。

(二) 生徒指導の充実及び、

問 放課後児童クラブは？

子どもと親の相談員の活用(三) 児童民生委員や外部専門機関との連携等、今後具体的な取組みをします。

放課後児童クラブの学年枠の拡大について伺います。

答

放課後児童クラブの重要性が高まっているため、新町では六年生までを対象とすることにしまし

問 生活交通は？

生活交通の利便性向上について伺います。

答

中国運輸局の支援を受け、「(仮) 北広島町生活交通再編検討委員会」を立ち上げ、新町交通体系計画を作成します。



広域営農団地農道(都志見地区)



県道下石八重線(有間地区)
(高校生の通学風景)

道路関連

問 県道下石八重線の整備促進について

答 建設局との協議で早期整備を



蔵升 芳信

問

当路線は、合併に伴う域内幹線道路であり、また沿線には千代田高校、ゴルフ場、自動車関連企業等もあり、交通量も多い路線であります。通学路としての危険箇所、大型車の通行困難箇所の解消など早期整備が必要な路線と考えますが、国道二六

答

一号への接続計画も合わせ、見解を伺います。豊平と千代田地域を結ぶ幹線道路であり、国道二六一号への接続の必要性も強く感じています。幸いにも、国道接続計画部分の志路原川改修工事が本年度から再開の計画であります。

問

葬祭場の整備は？

答

老朽化著しい火葬場に代わる、葬祭場の早期整備が望まれます。安芸高田市と共同で、葬祭場の整備を早期に図りたいと考えています。

道路関連

問 広域農道活用の見通しは

答 経営環境の整備に取り組む



濱田 芳晴

問

芸北溝口から豊平までのトンネルの開通と、全線開通はいつになるのか、豊平から千代田までの事業採択の準備、国土調査は、終わっているのか、農道利用の営農計画書に芸北エリアの産地育成と、担

答

い手対策が盛り込んであるのか伺います。全線開通は、平成二十六年年度の予定です。又、当該農道の採択案件となっている産地育成や、担い手対策等を盛り込んだ計画書の内容については、

問

通信の整備は？

答

携帯電話難聴地域の解消等について伺います。本年度は調査年と考え調査結果により国の事業で計画を進めていきます。



中村 勝義

問 米政策改革大綱が入りました。その指針となるものが水田農業ビジョンです。

旧四町とも地域の特色を活かした水田農業の展開を目指し、特徴ある水田農業ビジョンを策定し取組みが

答 米政策改革大綱が施行されて二年目に入り、新町として農家の意欲心を引き出し、将来展望の持てる内容のビジョンの策定について伺います。

この改革は、現行の転作奨励金から産地づくり交付金へと変わり地域へ一括交付し、地域で

問 新町の特性を活かすには？

新町の特性をどう活かしますか。

答 大朝支所公民館をどうしますか。

支所二階を改修し、活動の拠点として機能の充実を図ります。

産業関連

問 水田農業ビジョンの調整は

答 平成十八年までは、今のまままで



中田 節雄

問 合併を契機に、地域間競争は今まで以上に激化してくるものと考えられます。

町内には多くの特産品がありますが、地場流通している物が少ないのが実態です。

地産地消を原則にしなが

答 現在、様々な工夫を凝らした特産品が生まれています。北広島町独自産品協議会を全町的組織として設置し、販路の拡

ら、新たな商品開発を促進して、地域産業を起こし、雇用を確保すべきと考えますが、見解を伺います。

問 学校の危機管理は？

学校における危機管理対策について伺います。

全教職員が情報を共有すると共に、目

答 北広島町企業立地奨励条例を制定し、企業誘致と定住促進を図り活性化を目指します。

問 大朝公民館は？

大朝支所公民館をどうしますか。

支所二階を改修し、活動の拠点として機能の充実を図ります。

産業関連

問 地域産業の育成支援について

答 町をあげての取組みを検討していきたい

大、新商品の開発、地域間の連携を図り、品質・加工技術の向上等、より良い商品を育てていきます。

企業化できるものについては、国の強い支援策の導入を検討して行きます。

問 情報公開は？

建設業における情報公開について伺います。

答 公表に係る規則を定め、インターネット等での公開を検討していきたいです。

その他

問 バイオマスタウン構想策定は

答 積極的に検討する



伊藤 久幸

問

バイオマス資源は単なるエネルギーの生産だけでなく様々な効果が期待できます。

町がバイオマスタウン構想を作成することにより線路をつなげ、やがて面的な広がりを見せることでその意義はさらに高まります。

問

当町としてバイオマスタウン構想策定についてどのような姿勢で取り組むのか所見を伺います。

答

民間レベルの取組みが全国的に高い評価を受けています。今後新ビジネスモデルとして成長することを期待しています。

町として中国経済産業局、農政局、国際ビジネス推進室と連携をとり、可能な限り支援します。

問 公共交通の見直しは？

答

町公共交通体系の見直しはありますが、全町的な生活公共交通体系の見直しを

問

大朝インター周辺の整備について伺います。

答

駐車場の拡張は大きな課題です。利用の実態調査をして整備の準備をします。階段について公団に改善を要望します。

問 大朝IC周辺の整備は？

図る中で、路線バス、デマンドタクシーの役割機能分担を検討します。

加計山頂携帯電話の鉄塔（大朝地区）



その他

問 指定管理者制度について

答 管理コスト削減が課題



竹丸 学

問

財政悪化からの脱却を図るため、構造改革の一環として指定管理者制度が施行されました。多くの公的施設の管理運営は財政的にも大変苦しいと思われま

す。民間事業者のノウハウを広く活用し、行政のスリム

問

化によりコストの縮減をしなければなりません。制度導入をどう考えていますか。

答

公的施設の管理運営は収支採算だけで論じる事はできないが、費用は町にも大きな負担になっています。管理コスト削減

が大きな課題であります。この制度により民間活力の導入に道が開けました。今後、町の行政改革計画の中で積極的に検討していきたいと思



条例制定及び一部改正

北広島町長職務執行者の給与及び旅費に関する条例を廃止する条例について
 北広島町企業立地奨励条例について
 北広島町まちづくり総合委員会条例について
 北広島町芸北財産区管理会条例について
 北広島町地域振興基金条例について
 政治倫理を確立するための北広島町長の資産等の公開に関する条例について
 北広島町行政改革推進本部設置条例について
 北広島町行政改革審議会設置条例について
 北広島町税条例の一部を改正する条例について
 北広島町特別会計条例の一部を改正する条例について
 特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について
 北広島町火災予防条例の一部を改正する条例について

…………… **可 決**

陳情審査

生活環境整備に関する陳情について
 (提出者：八重18区長 中野智之 他住民一同)
 千代田地域

八重東小学校の教育環境整備について
 (提出者：北広島町立八重東小学校
 PTA会長 森脇 誠) 千代田地域

溝口枕地区の生活道改善について
 (提出者：北広島町溝口 溝口枕行政区長
 長廣 修 他3行政区長) 芸北地域

…………… **採 択**

議員発議

地方の道路整備の促進に関する意見書
 (内閣総理大臣・国土交通大臣・農林水産大臣・財務大臣へ送付)

…………… **可 決**

地方の道路整備の促進に関する意見書

受益者負担という制度趣旨に則り、道路整備を強力に推進するため、自動車重量税を含む道路特定財源は一般財源化することなく、すべて道路整備に充当すると共に、「社会資本整備重点計画」に基づき、国民の期待する道路整備を効果的且効率的に推進すること。

安心・安全な生活の確保や経済活動の発展を支えるため、地方の遅れた道路整備を推進し、一日

も早い完成に努めること。

高速道路の更なる有効活用により、一般道路も含めた道路全体の渋滞や沿道環境、交通安全問題の解決を図るため、ネットワークの早期整備、弾力的な料金設定などを進めること。

平成17年6月29日

北広島町議会

その他

問 携帯電話の圏外区域の解消は

答 平成十八年度から実施設計に入る



中野 雅司

問

携帯電話は社会生活上で、欠くことのできない重要なものです。しかし、町内の一部には携帯電話の圏外区域があり、これらの区域では緊急連絡などに大変不便と不安があります。

答

携帯電話は社会生活上で、欠くことのできない重要なものです。しかし、町内の一部には携帯電話の圏外区域があり、これらの区域では緊急連絡などに大変不便と不安があります。取組みを伺います。実態調査を行ない、通信サービス事業者に働きかけて、平成十八年度から実施設計に入り着工します。

問

道路改良の見通しは？

県道安佐豊平芸北線及び芸北大朝線の改良見通しについて伺います。

答

安佐豊平芸北線移原工区は平成十八年度、芸北大朝線大谷工区は平成二十二年度完成予定です。



員動 議活

新町主要施設等を

視察研修

五月十七日十八日の両日、中国地方で一番広大な面積を有する町となった本町の実態を知るべく、全議員の参加を得て、町内の主要施設視察を主体に研修会を実施しました。

旧四町それぞれの個性ある町づくりに向けた取り組み状況や、道路等インフラ整備状況の違い、地形や気候の違いなど、短時間での研修ではありましたが、多くのものを体感することができました。



議会傍聴記

の「町民のための行政を」に感銘を受けました。絵空事にならないこと、合併して良かったと言えることを願います。

豊平地区 西本 篤弘

新町として初めての定例議会なので、是非と思い傍聴しました。熱意を感じさせる議員さん方の質問、これに答える町長さんの真剣な答弁に、心から共感を覚えました。

特に千代田の議員さんの「旧四町の区別のない公平な行政の執行を」と、合併時の最大問題を捉えた発言、更に、町長さんの度々



新町初の定例議会

あ と が き

去る六月十六日から二十九日まで、第一回の定例議会が開催されました。一般会計予算案、特別会計予算案などを中心に審議いたしました。町民のみなさんの関心も高く、会期中に延べ百四名の傍聴者がありました。ありがとうございました。今後も町民の期待に応えるよう議員一同頑張ります。

●表紙写真の解説●

アカショウビン

5月初めに八幡高原を訪れるアカショウビンは、苅尾山などの広葉樹林で営巣するカワセミの仲間、カエルや小型のサンショウウオなどを主に食べる。「キヨロキヨロ」と言う美しいさえずりは遠くからでもよく聞かせる。

9月頃には子育てを終え、冬を越すために沖縄や東南アジアへ向けて旅立って行く。